

は じ め に

昨年は5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となり、社会生活や経済活動が徐々に正常化してきた1年でした。本組合の新型コロナウイルス感染症の対応では、救急活動時間の延伸や、組織内での感染予防対策など今までに経験のない状況に苦慮したことは記憶に新しく、これらの経験で学んだことを教訓とし、さらなる消防体制の整備及び柔軟な対応力の強化に努めてまいります。

昨年、本組合管内の火災件数は過去10年間で最多件数となり、また救急出動件数も過去最多件数となりました。火災予防の啓発や、増加の一途をたどる救急出動への対応など本組合の活動においても新たな課題が浮き彫りになりました。このことから、デジタル技術及び蓄積されたデータを積極的に活用し、広く住民の皆様へ情報発信するとともに消防DXの推進を図り、効率的で迅速な消防行政の運営を目指してまいります。また、住民の皆様及び関係機関との連携を深め、近年複雑化・激甚化する自然災害への対策を強化し、住民の皆様が安全に安心して暮らせるまちづくりのため一層努力してまいります。

本組合は住民の皆様へ支えられ、昨年、発足50周年を迎えました。消防を取り巻く環境は時代とともに変化する中で、管内住民の皆様への尊い命と財産を守るという消防の責務は変わりません。引き続き、次の50年へ向けて「いのちと心を 未来につなげる消防」を目指してまいります。

この年報は、令和5年中の郡山地方広域消防組合の現勢及び消防統計を記録したものです。

なお、火災・救急・救助等の統計は暦年とし、その他の業務については原則会計年度で収録しております。

令和6年8月

郡山地方広域消防組合